

# シルバー 安全だより

第24号

平成15年1月1日

(社)日向市シルバー人材センター

安全管理委員会

## ～～ 安全就業に対する意識の高揚は 各会員がリーダーであること



安全管理委員長  
井上 繁

会員の皆様、明けましておめでとうございます。21世紀の3年目を迎え今年は何か良い年でありたいと願っています。「石の上にも三年」と云う諺があります。毎年年頭に当り、努力目標を目指して頑張ってもらっています。新世紀の三年目の節目に当り「各会員さん一人一人がリーダーである。」と云う自覚を新たに「傷害事故0」を合言葉に、交通事故と安全就業等、意識の高揚に努め頑張りましょう。会員の皆様の御健康と御多幸をお祈りします。

## 秋季 安全パトロール（12月4日）に実施する

今回は、草刈作業2ヶ所、管理2ヶ所、剪定2ヶ所、軽作業1ヶ所の計7ヶ所を巡回しました。寒暖の差が厳しい時期です。体調管理は自分でしっかりとして就業するようにお願いします。

今年も明るく健康第一で事故0をめざしてがんばりましょう。本年もよろしくお願いします。

黒木重美委員

### 【チェックポイント】

- ①雨あがり傾斜地の足場確保
- ②操作手順・安全確認を  
忘れずに
- ③標識等を多めに設置すること
- ④保護具着用を忘れずに！
- ⑤体調管理に気をつけること



## 交通事故<sup>ゼロ</sup>をめざして

県内では最近、交差点での交通事故が増加しております。その中でも、自転車利用者が事故に遭う率が意外と高いようです。特に市街地の交差点で交差する道路から自動車等が出てきそうな場合や、付近に右折や左折しようとしてる自動車がいる場合は、その自動車等の動きに十分注意してほしいと思います。

更に自動車の運転をする場合は、1)交差する道路からの四輪車、そして2)対向道路の右折四輪車、3)バイク、4)自転車、そして5)歩行者の動向と五つのポイントに絞り注意をしていただきたいと思います。

つまり交差点で安全確認をする場合は、最低この五つのことを確認するんだという目的意識をもって確認することが大切になってきます。

昨年は日向市シルバー人材センターでバイクの交通事故が起きています。交通事故は、他の事故に比べ重篤になるケースが多く見られ、軽傷でもその後、病床につき長患いや寝たきりとなるケースが多くなっています。すべての事故は起きるものではなく、起こすものです。寒さも一段と厳しくなっています。健康管理に十分留意し、安全就業、就業途上の交通事故の事故防止に努め今年も頑張っていきましょう。

藤田辰巳副委員長

※平成14年度 安全標語・川柳の入選作品発表は「シルバー日向岬」第24号P9記載してあります。





# みんなの願いは、安全無事故！



理事長  
高橋 彰一郎

ヒヤリ！ハッと！の再発防止は、心構えから。  
道を歩いていて電信柱にぶつかった人がいた。普通では考えられないことだが、その人は考え事をしていました。心ここにあらずの時、予期せぬ失敗をしてしまうものです。一呼吸して心の集中力を高め事にあたりたいですね。

**家を出る前に＝＝＝体調は、服装は、よし！**

**車に乗る前に＝＝＝始動点検・シートベルトは、よし！**

**作業に掛かる前に＝ヘルメット・安全ベルト・ゴーグル、よし！**

家にたどり着くまでにいくつもあります、…一呼吸。

病気も怪我も、生活習慣から！体調がいいと集中力が高まります。

五大生活習慣病 1. 高血圧 2. 糖尿病 3. 高脂血症  
4. 高尿酸血症 5. 肝疾患

この五つを意識してチェックするのも家庭内での一呼吸運動と思います。

## 10月25日 安全管理講習会を開催



鈴木ミナ子会員

10月25日シルバーワークプラザにおいて、安全管理講習会が開かれました。「安全と健康」と題して塩見・新町地域班の鈴木ミナ子会員、そして「草刈と私」という題で日知屋枝郷A地域班の赤星豊信会員それぞれの体験発表がありました。入会して友達ができて楽しいことや、朝、家を出るときの健康チェック、作業に取りかかるまえの機械の点検など安全面について話しておられました。



赤星豊信会員

次に（社）宮崎県シルバー人材センター連合会安全適正就業パトロール指導員森山悟氏が、パトロール経過報告、安全適正就業の意義について講演されました。①安全保護具を身に付ける ②毎月安全就業日をつくり、よく話し合う ③無理をせず慌てず落ち着いて作業する ④無理な計画をたてない ⑤規則をよく守る ⑥体調の悪いときは仕事に行かない ⑦連続作業は、体力によって休憩をとる 等、日頃私達が気をつけて就業している事と同じお話でした。毎回言っていることですが、「慣れ」が事故のもとです。日向市シルバー人材センターも昨年より今年は傷害事故、物損事故が増えています。ヒヤリ・ハットの法則を忘れずに十分注意して事故防止に努めましょう。

柳田悦子委員



森山悟指導員



神園SP相談員

